

○ 平成 28 年度 第 9 回 『小児がん（白血病）』 ○

講 師：広島大学病院 小児科 川口 浩史 先生

実施日時：平成 28 年 12 月 10 日（土） 14：00～16：20

会 場：西区民文化センター

対 象 者：白血病などの子どもの家族、支援関係者、関心のある方

参 加 者：23 名（家族 7 名、本人 1 名、保育士 4 名、養護教諭 3 名、広島市 2 名  
CLS1 名）こども 3 名 担当：広島市

○講演内容

①小児がんについて

頻度、種類、治療など

白血病について

②退院後の日常生活

退院前に知っておきたいこと、復学、生活リズム

③参考となる資料、ホームページなど

書籍、HP、患者会



○アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「こどもが退院間近で今後の生活が気になっていたため」「講演内容に興味があった」

「職務上病気のお子さんと触れ合うことがあり、支援方法や色々な知識を得ようと思った」

<参加された方の感想>

「病気のことについてより理解が得られた」「とても分かりやすい講義でした」

「退院後の生活の中で気になっていることを知ることが出来ました」

<<<さ

○相談員より一言

昨年度に続いて広島市で白血病の交流会を開催しました。今回は保育・教育関係にも広報を行い、保育士や養護教諭の関係者にも少人数ですが参加いただきました。講演では退院後の日常生活や晩期合併症など、ご家族にはどれも気に掛かるトピックスを詳しく説明されました。小児がんの治癒率が上昇するにつれ、経験者が治療後どれだけ元の生活に戻れるかも問題となり、生活リズムの立て直しや体力の向上、復園、復学など退院後の生活にも多くの課題があります。

お子さんの重症度に差があり発言の少ないご家族もおられ、交流会のあり方も一考させられました。交流会後に患者会のピアサポーターの方に傾聴していただき、ご家族のお気持ちが少しでも楽になったことを願います。

